

県内地域史 研究会紹介

(三)

佐伯史談会

- ① 会 名 佐伯史談会
- ② 事務局所在地 佐伯市池田下久部一五七五 松垣七郎方
- ③ 発足年月 昭和三十三年三月
- ④ 会 長 名 矢野彌生
- ⑤ 会 員 数 三二四名(平成七年十二月末現在)
- ⑥ 会誌名・年発行回数 『佐伯史談』 年三回
- ⑦ 近刊発行の主な目次

〔第一六五号〕

『私考』高政と鯨江系譜……………林 寅喜
 土佐の堅田一族……………堅田 貞志
 愚考古学(二〇)「古代人の力学思考」……………中林 幸夫
 中世佐伯荘……………宮下 良明

追跡 祖母嶽大明神佐伯氏系図……………さとう たくみ
 萬連年記録帳(四)……………御手洗 義夫
 伊予路―歴史と文学の旅……………故 後藤 知久
 国木田独歩佐伯での生活(三一)……………故 山内 武麒

〔第一六六号〕

年貢米下札から学んだこと……………林 寅喜
 海部の地理(一一)―津久見の陸上交通の変遷……………矢野 彌生
 愚考古学(二一)「この仏像に尋ねたい」……………中林 幸夫
 村祈禱の源流について……………岩田 正城
 乱世の武將と善教寺……………宮下 良明
 善教寺の踏み絵……………汐月 三代吉
 わが村の昔ばなし……………松垣 七郎

〔第一六七号〕

西南戦争余談……………松村 昌勝
 愚考古学(二二) 古文書と花押……………中村 幸夫
 謎の仏像……………宮下 良明

海部の地理(一三)米水津村位置と自然環境……矢野 彌生 愚考古学(二四)

聞き書き史談はか萬控え(一)……林 寅喜

百済の里 南郷村を訪ねて……高司 良恵

〔第一六八号〕

海部の地理(二四)——人口よりみた米水津村の

歴史地理的考察——矢野 彌生

〔第一七〇号〕

「聖岳化石人骨」を読む……矢野 徳彌

萬控え(二) 白坪川の今昔……林 寅喜

「研究」地名佐伯……宮下 良明

愚考古学(二三)「誰が名付けた番匠川と」……中村 幸夫

元越山に登った独歩の帰り道……武田 剛

みちのく紀行……神崎 辰雄

〔第一六九号〕

小田山城について……小野 英治

「聖岳化石人骨」を読む(二)……矢野 徳彌

海部の地理(一五)産業よりみた米水津村……矢野 彌生

「研究」佐伯荘の境界……宮下 良明

佐伯久良磨呂は佐伯に住んだか……中村 幸夫

萬控え(三) 御朱印道中から学んだこと……林 寅喜

弾を斬り裂いた日本刀……松村 昌勝

「私の主張」終戦五十年を迎えて……上杉 清喜

参勤交代に於ける毛利藩と細川藩との誼……松村 昌勝

佐伯藩「藩医考」我が家の古文書から……小野 ミヤ子

海部の地理(一六)——米水津村間越の地域調査——矢野 彌生

「聖岳化石人骨」を読む(三)……矢野 徳彌

「研究」佐伯荘(その二)……宮下 良明

萬控え(四) 独歩と元越山の文書順達路……林 寅喜

愚考古学(二五) おがくず談議……中林 幸夫

分教場の跡を訪ねて その(一)……

宇目町重岡小学校水ヶ谷分校……高司 良恵

「古文書紹介」紺屋取締役一件帖……林 寅喜

⑧ 活動状況

佐伯史談会が発足したのは昭和三十三年（一九五八）三月で、平成八年（一九九六）三月で満三八歳になる。会は、佐伯地域（主として佐伯市・南海部郡）の地方史ならびに文化・民俗などを調査・研究し、地域社会に寄与することを目的として発足したものである。

この三八年間、佐伯史談会は、会誌に多くの論文を発表するかわら、資料の収集に努め、佐伯地方の郷土史の解明に大きく寄与してきた。また、三の丸櫓門の修理など働きかけ、町並み保存の機運を盛り上げた（佐伯市談会・青年団・婦人会が中心となり、「佐伯城三の丸櫓門保存会」を結成。一四〇余年ぶり、五〇〇万円をかけて修復工事を行ったもの。昭和五十年四月落成）。

△評議員制で会を運営▽ 昭和三十三年に高木嘉吉氏を初代会長に会員十一人で発足したが、現在会員数三〇〇人を越える大きな研究団体に成長しており、平成年間に入会した人が全体の三分の一を占める。また、会員も佐伯市・南海部郡を中心に、大分県内各市郡・九州各地・東京都・神奈川県・大阪府など広範囲におよんでいる。更に、会は評議員制で運

営されているのも大きな特色である。

△事業は研究発表大会や講演会・古文書講習会など多彩▽ 佐伯史談会の毎年実施される事業をあげると、①初歩き（新年早々佐伯市内の史跡を中心に）、②講演会（講師は会員であるのも特色）、③奉仕活動（史跡を清掃）、④研究発表大会（平成三年より毎年）、④県外研究旅行（平成七年は人吉・球磨地方から奥日向・西米良へ）、⑤佐伯氏例祭（竜護寺）、などがある。また、事業を円滑に進めるために、会には総務・編集・事業・研修の四つの委員会を設置して、会の推進力となっている。

△他団体への協力▽ 史談会は他団体へも毎年積極的に協力し、自らも研修をしている。平成七年度には、市立図書館主催の「古文書講習会」（毎月一回・講師も史談会会員）や佐伯地区の文化財調査委員の研修会に参加、市の中央公民館の「郷土の歴史教室」（講師も史談会会員）、佐伯市の「市報」に「歴史散歩」の記事を執筆（平成四年から平成八年まで）するなど、協力をしている。

（会長 矢野彌生）